

大学情報活用フォーラムのご案内

2022年7月吉日

株式会社SRA東北

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、弊社では下記の日程にて「大学情報活用フォーラム」を開催することになりました。

「大学情報活用フォーラム」では、講師をお招きして各大学・機関における情報活用の事例等を紹介すると共に、参加者皆さまの情報交換の場としてお役立ていただければと考えております。ご多忙中とは存じますが下記開催概要をご参照の上、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

敬具

記

開催概要

- 開催日時 2022年9月9日(金) 13:30～(受付開始:13:00～)
- 会場 ホテルメトロポリタン仙台
※オンラインでのライブ配信も実施します。(質疑等は現地参加のみとなります)
参加申し込み欄に現地参加、オンライン参加を選択ください。
- 定員 現地参加80名、オンライン参加300名(先着順とさせていただきます。)
- 参加対象者 大学・教育機関の教職員のみとさせていただきます。
- 参加申込方法 下記のURLより、必要な情報を入力し、申込してください。
<https://forms.gle/XknxSfHthr2Zz5NN9>
- 参加費 無料
- アクセス



ホテルメトロポリタン仙台：〒980-8477 宮城県仙台市青葉区中央1丁目1番1号

TEL 022-268-2525 FAX 022-268-2521

JR仙台駅2階正面出口(西口)から歩道橋(ペDESTリアンデッキ)に出て左方向にございます。

- オンラインでの参加方法については、申し込みされた方に開催日の前週までに個別にご案内させていただきます。

※プログラム内容については裏面をご覧ください。

プログラム 受付開始 (13:00-) 講演会 (13:30-17:30)

(1) 大学内外のデータ利活用の動向と今後の課題

講演者：山形大学 学術研究院 教授 浅野 茂 様

昨今、政府のデータ活用に向けた基本方針、基盤整備、仕組み等の見直しが進んでいます。また、「エビデンスに基づく政策立案(Evidence-Based Policy Making:EBPM)」という考え方が注目され、内閣府は e-CISTI の整備などを進めています。一方、大学においては、必ずしも学内データを有効利用できない状況が続いており、いまだ高等教育政策等で要請されている事項に対して、十分に対応できていない現状があります。こうした動向を踏まえ、本セッションでは大学外でのデータ活用に向けた取組等を概観し、学内の各種情報を利活用していく上で IR が果たせる役割等について話題提供させていただきます。

(2) 教学マネジメントの基盤となる「IR」を再考する

講演者：東北学院大学 学長室 政策支援 IR 課 課長補佐 齋藤 渉 様

2020年1月に文部科学省中央教育審議会大学分科会より「教学マネジメント指針」が示され、それを支える基盤の1つにインスティテューショナル・リサーチ (IR) が位置づけられました。国内大学における IR の専門部署もしくは委員会方式で設置している大学は設置形態を問わず増加傾向にあるもの専門人材の確保や定着による業務の高度化も必要な要素の1つとなります。東北学院大学では2016年度に学長室に設置され6年目となりました。この間、BI (Business Intelligence) ツール導入や TGU FACTBOOK 等を通じて執行部が意思決定を行うための情報の取扱い及び分析によるエビデンスのある支援を行っています。この過程や組織の変遷から、「形骸化させない IR の組織づくり」の取組として話題提供をさせていただきます。

(3) 大学の研究設備・機器の共用推進に向けた設備共通管理システムの開発

講演者：宮崎大学 産学・地域連携センター 連携研究設備ステーション ステーション長 准教授 境 健太郎 様

我が国の研究力を強化するため、研究「環境」における国の重要な施策として、大学や研究機関等における研究設備・機器の共用体制の確立が掲げられています。このような中、研究者がより自由に研究を進めるために、共用可能設備の閲覧や予約機能を持つ設備利用における利便性を高めるための設備共通管理システムの開発が必要です。さらには、各機関における経営戦略も踏まえつつ、既存の研究設備・機器に係る利用状況等の把握とともに、更新、新規導入に係る財源を分析の上 (研究基盤 IR)、研究設備・機器の整備及び整備後の活用に関する中長期的な戦略と計画を策定し、必要に応じて見直していくことが求められています。こうした動向を踏まえ、本学と SRA 東北とで共同開発した宮崎大学における設備共通管理システムについて紹介させていただきます。

(4) AI を用いたニーズとシーズの効率的なマッチング支援システムについて

講演者：九州工業大学 管理本部 准教授 山本 鉦 様

研究者は研究成果を発表するうえで専門用語を用いるため、それに明るくない人が技術相談や研究グループの構築などを目的に研究者を探すことは難しい場合があります。また、最適な研究者がどの大学に所属しているかも分かりません。そこで複数の大学から協力を得て、この問題の解決に資するニーズとシーズの効率的なマッチングを支援するためのシステムを開発しました。このシステムでは、技術相談文はもちろんのこと気になるニュースや記事といった文章を入力すると、その内容に精通しているような研究者を探索します。その探索の際には、日本語や英語で公開されている研究者の研究業績だけを活用しています。今回、開発したシステムの仕組みや具体的な活用方法、そして今後の取り組みについてご紹介いたします。

(5) SRA 東北ソリューション紹介

講演者：株式会社 SRA 東北

弊社の大学様向け展開するサービスや取り組みについて、ご紹介させていただきます。

※フリーディスカッション・意見交換会 (17:30-18:30)

御講演頂きました講師の方や会場参加者でのフリーディスカッション・意見交換の時間を設けております。

本イベントに関するお問い合わせについて、以下の担当までお問い合わせください。

担当：相澤、新沼 電話：022-221-9061 メール：uv-ev@sra-tohoku.co.jp